

第10回日展

第3科（彫刻） 特選授賞理由

題名
のどけからましⅡ
作者名
石母田ななみ
授賞理由
三人の女性が造り出す空間が心地良い。女性特有のやわらかい曲面で作られた塊の繋がり、顔の表情から、温かく豊かな雰囲気伝わってくる。色使いも含め、個性ある表現が高く評価された作品である。

題名
馳す
作者名
加藤真浩
授賞理由
強靱な肉体をもつ青年は、胸を張って清々しく立つ。力強い肉づけがその印象を引き立たせている。天の一点を見つめ思いを馳せる表情からは、内面の意志の強さを感じさせる。

題名
まなざし
作者名
窪 信一郎
授賞理由
左手をそっと差し出すその先に、女性の慈愛に満ちたまなざしが注がれる。右手が指さすその先には何かあるのか…。コスチュームと人体の豊かな造形に、秘められた意図が織り込まれ、入念に仕上げられた優作である。

題名
礎
作者名
桑原秀栄
授賞理由
新鮮で生命感溢れる作品である。足は大地をしっかりと捕まえて揺ぎない。堂々とした体軀は力強く、しっかりした構成は安心感がある。また、背面の表情も魅力的である。

題名
彩雲
作者名
高橋 忠
授賞理由
大きく手を挙げた姿はのびやかで、爽やかな潮風の香りを感じさせる。長年の技量の蓄積と豊かな経験が伴った堅実なモデリングである。作者のやさしい思いが融合した秀作である。

題名
パンジーは俯瞰する
作者名
田原迫 華
授賞理由
高い椅子に腰かける少女の清楚なイメージが魅力的な作品である。光と影の見せ方に巧みな工夫が見られ、物憂げな表情や手や足先まで丁寧に仕上げられてあり、秀でた写実力が感じられる。

題名
進化と朽滅
作者名
最上 健
授賞理由
樹のもつ力強い生命力と、女性のもつ豊かな生命力が見事に融合した力作である。足元から徐々に変化する彫りが、作品に豊かな表情を与えている。森を感じるような彩色も絶妙である。

題名
晴間への誘い
作者名
諸井謙司
授賞理由
フードを被りコートを纏った女性像である。大きめのシューズが安定した構成に力強さを際立たせている。このシンメトリーの静的な構成に絶妙な動きを内包させた造形力は、観る者を作品の内面へと誘うのである。